

文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業

『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進 3年間の取り組みで、奈良の新たな魅力発信に貢献

2017年度に、全国の123の私立大学・短期大学の申請から採択された、本学の『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進」が、3年間の取り組み期間を終えました。

このブランディング事業の核となった本学が推進する「奈良学」とは、地域と密接にかかわりあいながら、奈良の魅力を新たな学問的視点で再発見、再構築することで、地域の活性化と創生に貢献することを目的としています。学際的「奈良学」は、「実学の帝塚山大学」として、地域で展開する本学の教

育研究活動とも親和性が高く、学生や教員の産官学連携活動をこれまで以上に推し進めることになりました。

3年間にわたる本取り組みでは、新しい技術や研究手法を積極的に取り入れることにより、時代に即した形で奈良の文化資産の魅力を発信できたことが第一の成果として挙げられます。その教育研究活動は奈良全域で展開され、研究者・学生・自治体、産業界、

地域の人々など、あらゆるステークホルダーが、学際的「奈良学」研究を中核とした情報ネットワークで結ばれるという「帝塚山プラットフォーム」の

実現を可能にしました。

この事業で得られた成果を糧に、これからも学際的「奈良学」を推進していくとともに、本学の知的リソースと地域のリソースをうまく組み合わせ、奈良の文化資産や観光資源を再発見することで、より一層の地域振興につなげていく所存です。



▲ 県立民俗博物館の常設展示とともに民俗調査の成果を展示



▲ 興福寺中金堂落慶記念「奈良学」フォーラム「祈りと復興」

奈良県全域から世界へつながる学際的「奈良学」研究

文化財・祭事

- 1 聖徳太子関連遺跡の研究
- 2 中国・内蒙古自治区の遼代皇帝陵出土品を手がかりとした正倉院宝物の研究
- 3 永野太造氏撮影のガラス乾板を手がかりとした奈良仏像史の研究

食文化・伝統産業

- 4 大和野菜の食物学的研究
- 5 奈良晒(さらし)の研究

地域・コミュニティ

- 6 五條市の歴史学的研究
- 7 民俗資料や聞き取り調査による奈良県内各地域の生活文化研究
- 8 奈良県北西部の山・里・川と人々の営みに関する総合的な歴史文化研究



▲ [五新鉄道 夢列車]4K映像により五條市の未成線を再現



▲ 大学にある100台もの織機で伝統の技を学ぶ「織物講座」



▲ 本取組みの成果として公開された奈良学叢書「奈良学研究の現在」。3巻を重ね、今年も続刊の予定

EXHIBITION

特集展示「大和路の仏にであう」 —奈良に生きた写真家・永野太造と仏像写真—



文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業で採択された『『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進』において、本学は仏像写真家・故永野太造氏が撮影したガラス乾板6,934枚の画像および撮影記録等のデジタルアーカイブ化を進めてきました。本特集展示では、ブランディング事業の研究成果でもある約50点の高精細デジタル画像の仏像写真で「大和路の仏」の魅力に迫ります。

会期 ～9月27日(日)
場所 半蔵門ミュージアム(東京都千代田区)
TEL 03-3263-1752
<https://www.hanzomonmuseum.jp>

開館時間 10:30-16:30
(入館は16:00まで)
休館日 毎週月曜日・火曜日
入場料無料・予約制入場

NEWS

三郷町と地域経済の 振興発展に向けて 包括連携協定を締結



本学は、2月20日、三郷町と、地域社会の持続的な発展と人材育成に寄与することを目的とした連携協定を締結しました。自治体との包括連携協定は、これで7件目となります。これまでも実績のある学術交流や生涯学習事業での連携にとどまらず、教員や学生による三郷町の文化資源や観光資源の掘り起こしなど、町の活性化につながる新たな事業を展開します。